

議会基本条例の検証について

留萌市議会は、市民にわかりやすく・開かれた議会を目指すために議会基本条例を平成26年6月に制定しました。議会運営委員会は議会の運営を円滑かつ効率的に進めるために設置される委員会、議会基本条例を検証する事も委員会の役割の一つです。議会基本条例の検証は全25条の内容について33項目に分け、毎年行っており、今回の検証で3回目となります。

主な具体的な検証としては、議会の活動原則として、原則公開の会議の運営判断基準の必要性や多様な市民意見の把握方法の検討、市民参加の機会の提供においては毎年、意見交換会を開催しており、今年度は市制施行70周年特別企画として「中学・高校生との意見交換会」を8月9日に開催する予定です。今回の検証によって示された代表的な今後の課題として、1つ目が「参加しやすい

議会」です。これは、議会モニター制度などの新たな市民参加システムや夜間・休日議会を検討し、市民の皆さんが参加しやすい環境の整備です。2つ目が「議会運営の透明化」です。これまでも、本会議や予算・決算審査特別委員会の議事録の公開など行っていますが、今後においては各委員会の公開や議事録公開に向け、検討します。

3つ目が「議会のIT化の検討」です。パソコンやタブレットを活用した議場におけるペーパーレス化は、全国の議会においても検討されてきており、経費削減に繋がるものとして注目されています。これらの課題を念頭に先進地視察を実施することで、行政と議会からなる二元代表制を地域行政の発展の一躍を担う存在に留萌市議会がなるべく、邁進したいと考えております。

留萌市議会だより

第125号

議会です
こんにちは

●留萌市議会事務局

TEL42-1907 FAX43-6700
URL : <http://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html>
E-mail : rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

留萌市議会

検索



※左記のQRコードからも留萌市議会のホームページにアクセスできます。

主な内容

- P14 ・全国市議会議長会が開催
鉄道の維持を求める議案を決議…… ほか
- P15 ・議会運営委員会からの報告 …………… ほか
- P16 ・各常任委員会からの報告
- P17~P19 ・第2回定例会一般質問項目
- P20 ・平成28年度留萌市議会議員出席状況
- P21 ・こんなことがきました
・各組協議会からの報告…………… ほか

全国市議会議長会が開催

鉄道の維持を求める議案を決議

全国市議会議長会は、5月24日「東京国際フォーラム」で、第93回定期総会を開催し、留萌市議会から野崎議長が出席。開会式では、岡下会長（高松市議会議長）の挨拶。来賓として安倍晋三内閣総理大臣他4人の大臣が祝辞が述べました。議案審議において、部会提出議案第23号「JR北海道の経営再建及び、路線維持に向けた支援について」を北海道部会を代表して野崎議長が提案理由の説明を行い決議されました。



▲北海道部会を代表して提案理由を述べる野崎議長

この議案は、留萌市議会の意見書を基に道北議長会で協議

- 確認した後、北海道議長会において、道北支部および道東支部の共同提案（若干修正）となり、この度の議案となりました。その内容は、次の5項目です。
- 1、JR北海道への国の支援のあり方について抜本的な見直しを行うこと
 - 2、北海道固有のコストの負担軽減について、新たな仕組みを早急に講じること
 - 3、JR北海道の経営安定のための改善に向けた対策を早急に講じること
 - 4、輸送力強化、観光客の増加に対する鉄道施設のバリアフリー化の推進など増収策につながる対策に対しては、適時資金面での支援を行うこと
 - 5、早急な対応が迫られている、老朽化した鉄道施設の保全・更新や耐震化の維持費用については、JR北海道の経営再生が図られるまでの間、特別な支援策を講じること

サイマルラジオ
放送スタート

6月開催の第2回定例会一般質問から、FMもえる「サイマルラジオ」での放送をスタートしました。開かれた議会を目指した広報活動の取り組みの一つです。

サイマルラジオは、放送エリアに関わらずどこにいてもスマートフォンやパソコンで聴くことができます。

特に電波が届きづらい地域の情報格差を解消することとなり、どこでもインターネット環境があれば聴くことができます。より多くの市民に留萌市議会の様子を知っていただきたいと思っています。

※FMもえるホームページにアクセスし、サイマルラジオのバナーを押してください。

かずの子フェスタで
来場者に「うちわ」などを配布

5月5日（こどもの日）、市と市教育委員会主催の「かずの子のマチ留萌フェスタ」が船場公園管理棟で開催されました。

このイベントは、市が推進する水産加工品の消費拡大推進事業の一環として開催され、5月5日が「かずの子の日」に制定されたことにちなんで実施し、今年で2回目です。

留萌市議会は、留萌市の地場産業の振興と地域内の経済循環への波及効果が生まれることを期待し、議員提案による「留萌市かずの子条例」を平成28年9月第3回定例会で全会一致により可決し制定しました。

イベント当日は、議員10人が管理棟前で来場者に、市公認かずの子応援マスコットキャラクター「KAZUMOちゃん」のイラスト入り「うちわ」やかずの子条例の内容を紹介したチラシを配布しました。



21世紀の桜の丘、苗木10年ぶりに植樹



5月14日、神居岩総合公園内の「21世紀の桜の丘」で開催された市民育樹祭に参加しました。留萌市森林・林業・林産業活性化推進議員連盟の事業の一環で、8人の議員が心地良い汗を流しました。

今年は、日本さくらの会からエゾヤマザクラの若木の寄贈を受け、54本の苗木を参加した市民と共に植えました。若木を支える人、土を掛ける人と息を合わせての作業。また、これまでに植樹された桜の木に肥料を播き、来年も爛漫と咲き香ってくれることを願いました。

「21世紀の桜の丘」には、1,414本の桜が植樹されています。留萌の桜の名所として、多くの市民の方に観て、楽しんでもらいたいと思いました。

第1 常任委員会からの報告



▲防災訓練の様子

■平成29年度避難行動要支援者対策について
市では平成25年5月に決定した「留萌市災害時要援護者避難支援プラン」、災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者の「個別計画」の作成を進めています。
「避難行動要支援者名簿」の作成については個人情報掲載するため対象者の同意が必要となります。調査の結果、要支援対象者数が約4200人に対し、名簿提供に同意する人の数が約1500人であり、なかなか名簿の作成が進まないのが現状です。
委員会では、名簿提供に同意しない人たちの理由はなにか、同意をするように何か工夫はできないかなどの意見があることから、検討を重ね、今後、名簿作成が進められます。



▲昨年度より少なかった除排雪作業

■平成29年度除排雪対策について
昨年度は少雪傾向により、除雪に関わる費用も前年度比20%減となりました。
それに伴い除排雪に関する苦情・問い合わせ件数も183件と過去10年と比べて最も少ない件数となりました。
苦情・問い合わせの中で多かったものは、凍結したツルツル路面に対し、滑り止め材や融雪剤の散布要請でした。「排雪に入る日程を教えてください」「市民雪捨て場のオープン日程を教えてください」といった運搬排雪作業に関する問い合わせが増加傾向にあることから、市ホームペーじやエフエムもえるによる周知徹底を要望しました。

第2 常任委員会からの報告



▲温水プール「ぶるも」の施設内

■温水プール「ぶるも」の開設
平成13年にオープンした温水プール「ぶるも」は、留萌市財政健全化計画の中で年間約5千万円の維持経費が見直し対象となり、平成20年度から休止、23年度までは学校のプール授業を中止、24年度から25年度までは、深川市温水プールを利用し、年間1回の学校プール授業を行っていました。26年度から小学校の授業専用として一部開設を行い、夏季休業期間中は、一般開放を行ってきました。

これまでに留萌市議会として「学校授業だけでなく市民の健康増進に対する意識向上も考慮し、再開に向けた検討を行うこと」について要望書を提出しています。
市が、30年度以降の施設のあり方を検討するため、留萌市民1千人を

対象としたアンケート実施を検討していることを教育委員会から報告を受けました。アンケートは、16歳以上の留萌市民の中から、無作為に1千人を選び、郵送。質問項目など内容について、議会意見を考慮し、教育委員会を経て決定されます。
なお今年は、7月23日(日)から8月20日(日)の期間を一般に開放することが告示されました。

■各種計画策定スケジュール
障がい者や高齢者などの日常生活や社会生活を総合的に支援するための各種計画の策定スケジュールが提示されました。
第4期留萌市障がい者保健福祉計画(平成30～35年度)、第5期留萌市障がい福祉計画(平成30～32年度)及び第1期留萌市障がい児福祉計画(平成30～32年度)策定予定。
また、第7期留萌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30～32年度)策定予定。市民アンケートの結果を反映させて11月には素案を説明したいと報告をうけ、常任委員会議論の時期と議会意見反映のための流れを確認し、計画策定へのアプローチを決定していくことにしました。

平成29年第2回定例会

一般質問と答弁



野呂 照幸

民進党

質問 免許証の自主返納制度について
自主返納制度利用による、留萌市の返納者数および返納率は、どれぐらいか。また、公共交通機関が十分でない地域に住む返納者に対しては、タクシーの利用クーポンや公共交通の無料乗車券や助成などを毎年交付するといった、思い切った施策が必要ではないか。

答弁 留萌市の過去3年間における運転免許証の自主返納状況は、平成26年度17件、27年度32件、28年度33件となっており、年代別に見ると70代、80代の方が多く返納されている傾向である。また、高齢者社会を迎えている現状を踏まえ、免許証の自主返納にかかわらず、高齢者の安心安全な移動手段を確保することが必要であり、高齢者の外出機会の増大を図ることが重要である。他都市などで実施しているさまざまな助成制度、公共交通環境など調査研究したい。

質問 墓地のあり方と合祀墓について
少子高齢時代を考えると、継承者不在の墓の多様化について、どう考えるか。また、市民ニーズの把握、検討結果はど



▲合祀墓(合同墓)の設置が検討される市営墓地

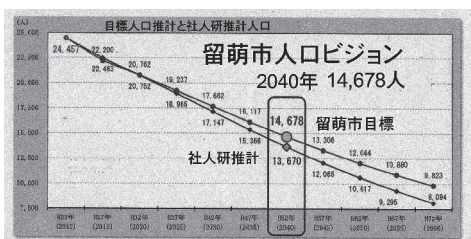
うなったのか。また、合祀墓(合同墓)の設置の考えと時期はいつか。

答弁 子供や親族が先祖の墓を守る、当たり前のことがさまざまな要因の中で変化してきている。合同墓については、さまざまな理由により合同墓についての相談があり、市においても設置を前提に検討を始めており、現在は市営墓地内で、合同墓の適地の一定の絞り込みを行っている。今後は施設規模の決定と、利用条件や料金などの規約の整理と条例改正等の準備を行い、平成30年度の設置を目指して進めていきたい。



澤井 篤司

萌政会



▲留萌市が目標とする2040年度の人口ビジョン

質問 人口減対策と成果について
市が策定した留萌市人口ビジョンでは、2040年度の目標人口を、国の推計より約1千人多い1万4678人を目標に掲げた。これは社会減対策としては毎年50人の人口引き上げに相当する。策定から1年半が経過したが、この数値目標の実現に向けて取り組んできた政策と数値評価、新たな政策案について伺いたい。過去に提案した生産年齢人口をターゲットとした定住促進制度や期限付き土地無償化の検討の進捗を伺う。

答弁 社会減抑制策として、農業を核とした産業創出、住宅改修助成、医療クリニックの育成支援事業等を戦略の柱としている。達成度評価人口は国勢調査人口を使用しており、数値評価は2020年以降にならないと困難。人口減少の抑制を実感できるよう、情勢変化にも対応しながら、従来の施策をベースに取り組んで

いきたい。定住促進策は他地域の情報収集とともに市民、関係団体からの意見を伺いながら調査研究していく。
質問 20年後の留萌の形について
第6次総合計画ではマチの目指す姿として「コンパクトなまち」をキーワードとして掲げた。人口密度の低下と、行政コスト増に耐えるマチの形・大きさをどのようにしていくのが理想かを伺いたい。マチ機能の再編は、PFIなどで公共事業の民間資金活用により財政負担を減らし、将来の仕事を生み出す可能性がある。仕事が雇用と消費を生み、息の長い人口対策になると思うがどうか。



鵜城 雪子

萌政会

質問 ごみ問題について
平成25年にごみが23種類に分別することになったため、市民から多くの苦情が寄せられている。苦情の内容はどのようなものが多いか。また、それらの苦情に対して、どのような対策を講じているのか。

小平町では、町内会長が独り暮らしの高齢者や障がい者、認知症の方などを町に知らせ、次に保健師が判断してごみの

分別をしなくても良いシステムが確立されている。

留萌市でも高齢者などが安心して暮らせる施策を講じる考えはないか、伺う。



▲ごみステーションに残された分別が不適切なごみ

〔答弁〕市民の苦情は、ごみ袋を残されるごみの種類が分からないなどが多い。また、苦情に対しては、職員が現場に向いて説明をしている。

今後も高齢化が予想されるため、分別排出について理解してもらえようようにきめ細かに対応するほか、状況に応じて自宅や町内会を訪問し、分別方法について理解と協力をお願いする。

〔質問〕入浴困難問題について

昨年5月に市内から最後の公衆浴場が廃業した。その後1年が経つが、市内唯一の温泉施設の利用啓発はどのように行なってきたか。

また、深川市では留萌市よりも先に公衆浴場がなくなっているが、無料のバス

が運行されている。

富良野市や根室市など他都市の対策について、留萌市はどのような調査・研究がされてきたか。家庭で入浴できない方に、行政としてできるだけの対策を講じる必要があると考えるが、見解をお聞きたい。



村山ゆかり

芽
クラブ

〔質問〕高橋市政の展望について

3期目の高橋市政は、5つの政策と東光小学校の改築など重点的な施設整備を掲げ、着実に執行してきたが、評価と自身の感想を伺いたい。新たな高校づくりが進んでいるが、北海道教育委員会が示す8月末までの譲渡判断を伺いたい。

来々2月の留萌市長選挙、4期目出馬の展望を伺いたい。

〔答弁〕市民が主人公という姿勢を大切に、積極的な対話を重ね、人口減少社会における行政課題を整理し、次の世代にしっかりと留萌を残していく形づくりを進めてきた。

新たな高校は、検討の結果、留萌中学校校舎として活用する方向性で確認し

た。最終的な判断までには、市民や保護者の意見を聴き、議論したい。

4期目出馬については、多選に対する市民からの厳しい目や懸念要素もあるの

で今後、関係者と協議し慎重に判断したい。

〔質問〕北光中学校の廃校と校舎利活用について

人口や公共施設が減少している港北地域の未来像について伺いたい。

留萌地域人材開発センター運営協会が来々3月末で閉校となる北光中学校校舎を同センターの移転先の候補地として

ることを総会で報告している。課題を伺いたい。

北光中学校校舎に移転すると想定の場合、スケジュールを確認したい。



▲来々3月末で閉校となる北光中学校

〔答弁〕公共交通ネットワークの見直し、老朽化が予想される住民センターなど、核となる施設に一元化を誘導するなど地

考慮し、翌年度から発行を見合わせた。

市のホームページに「暮らしの便利帳」を設けたほか、内容を印刷したファイルを市内公共施設に配置していた。

冊子の発行については同様に発行している他の市町村などを参考にしながら検討したい。



▲暮らしに役立つ情報が掲載されている市ホームページ



坂本 茂

無会派

〔質問〕不納欠損を発生源で抑えることについて

市は平成28年度、各種税や使用料など総額3775万1842円（該当者502人）を不納欠損として処理。不納の原因は一部を除き「生活困窮」にあることだが、未納に責任を感じない市民はいない。

それだけに、所得が低くて納められないときのために減免制度がある訳で、納

域コミュニティの強化に取り組むたい。

北光中学校舎は築15年、市としては利活用を検討しなければならない。譲渡や貸与などの条件を協議し、閉校後に普通財産に所管替えをして契約締結後に必要な改修をして移転になると考えられる。



戸水美保子

留
公明党

〔質問〕合同墓の検討状況について

昨年の第3回定例会において、市営墓地の中に合同墓を設置できないかという質問をした。市長からは「検討をしていく」という答弁をいただいた。さらに第1回定例会では今年度検討していくと答弁されているが、その検討はどこまで進んでいるのか。

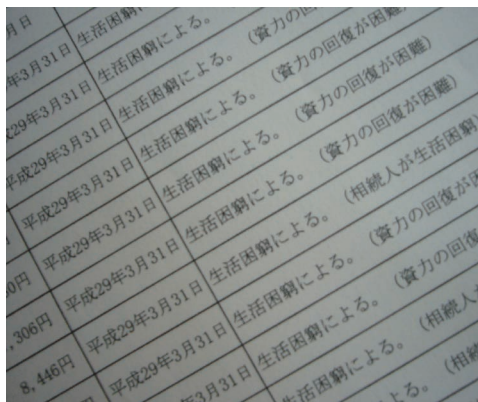
〔答弁〕市においても墓地の継承者の問題などが増えてきていることから、納骨方法の一つとして、平成30年度に合同墓を設置する。

〔質問〕ヘルプマークを活用したヘルプカードの作成について

内部障がいや難病の方など外見からは分からないが、周囲から援助や配慮が必要な方のために、東京都が作成したヘルプマークが全国的に広がっている。

本年7月にはJISマークとして認定される見込みとなっているが、市においても、このマークを使ったヘルプカード

税者の心境に配慮したさらなる取り組みについて伺う。



▲債権放棄調査から放棄した事由

〔答弁〕困っている市民に対して気遣うという思いをもって接することによって、市民から相談しやすい体制づくりを構築していかなければならないと思っている。

市民の皆さんにも早めに相談していただけるよう体制、気付きの点でも強めていきたい。

〔質問〕高齢者の自動車運転免許証自主返納について

高齢者の公共交通機関割引券発行など高齢者の移動を支援することで、高齢者に優しく安心して免許返納ができるまちづくりを急ぐべきと考えるがいかがか。

〔答弁〕高齢者の交通事故は間違いなく増加することが想定される。他都市の状況も広く調査しながら市としてできる支援策について検討していきたい。



笠原 昌史

民進党

〔質問〕市職員の時間外勤務の縮減に向

〔答弁〕北海道において全道的かつ効果的に展開していくため、道と市町村が十分に連携を図りながら取り組みを進める必要があるとの考えに立ち、現在「ヘルプマーク等の普及に関する取り組みについて（案）」が作成されている。

その後の経過を把握しながら研究・検討していく。



▲東京都が作成したヘルプマークとカード

こんなことが決まりました

平成29年 第2回定例会
6月6日～14日

平成29年第2回定例会が9日間の会期で開催され、諮問1件、報告8件、議案14件、意見書案5件などを審議しました。

【諮問】

- ・人権擁護委員の推薦について

【報告】

- ・留萌市土地開発公社の平成28年度決算に関する書類及び平成29年度事業計画に関する書類の提出について
- ・専決処分の報告について（損害賠償について）

ほか6件 …………… 了

【議案】

- ・平成29年度留萌市一般会計補正予算（第1号）
- ・留萌市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・留萌市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例制定について
- ・留萌市過疎地域自立促進市町村計画の変更について
- ・留萌市農業委員会委員の任命について

ほか9件 …………… 原案可決

【意見書案】

- ・地方財政の充実・強化を求める意見書
- ・義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤解消と「30人以下学級」の実現、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書
- ・平成29年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ・ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書
- ・雪崩遭難者救助対策の推進を求める意見書

編集後記



第2回定例会では、7人が一般質問に登壇し、市営墓地の合同墓設置や高齢者の自動車運転免許自主返納、JR留萌本線の存続問題に関する事など、市民の皆さんの暮らしに関する質問をし、市長の考えを確認しました。

市議会では、皆さんの暮らしに関係するさまざまなことを、活発に議論しており、市議会だよりや市議会ホームページでも内容を紹介しています。

市議会を身近に感じていただき、開かれた議会を構築するためにも、これからも広報・広聴活動の充実を目指し、市民の皆さんとの架け橋となるべく取り組んでいきます。（笠）

各組合議会からの報告

留萌南部衛生組合議会

■一般廃棄物最終処分施設（不燃系）における火災についての経過報告

3月10日午後、不燃系埋立区画から火災が発生。火災発生箇所では火災が5mくらい。施設内の消火器による初期消火で火災は弱まったが、消防署による消火活動により鎮火しました。

この火災により、遮水シート、保護シートおよびガス抜き管の焼損がありました。12日に再度、火災警報が鳴り確認。発煙を確認し初期消火を行いました。その後、火災は確認していませんが、消防署による消火活動を行ったことの報告を受けました。

組合議会議員協議会は、火災原因と火災現場の状況と対応策について協議。火災原因は、不燃ごみが化学変化などにより発熱、発火した可能性はあるが原因不明と判断。消火体制の確認、警備体制の強化、安全性など再発防止を指摘しました。

5月31日の臨時議会で、ガス抜き管復旧工事と遮水シート補修工事など復旧工事設計費（見込額）342万4千円を追加補正しました。



▲火災発生箇所の焼損状況



▲火災が発生した不燃系最終処分施設

平成28年度 留萌市議会議員出席状況 平成28年4月1日～29年3月31日

※(公)は公務による欠席
※(病)は入院などによる欠席
※(監)は監査による欠席
※(一)は出席対象外の会議
※委員会は開催状況により出席回数が異なります

議席		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
議員名		土田悦也	澤井篤司	笠原昌史	米倉靖夫	燕 昌克	鵜城雪子	川口宏和	小野敏雄	野呂照幸	戸水美保子	珍田亮子	野崎良夫	坂本茂	村山ゆかり	坂本守正	村上均
開催数		18	18	18	17	18	18	17	18	15	18	18	18	18	18	18	18
定例会		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
臨時会		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
特別委員会		3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	2	3	3	3	(-)	3
決算審査		3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	2	3	3	3	(-)	3
議会運営委員会		22	(-)	(-)	(-)	22	19	16	(-)	11	22	21	21	(-)	22	17(監1)	21
第1		12	10	9	(-)	11	(-)	11	12	12	11	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	10(公2)
第2		24	(-)	(-)	23	(-)	23	(-)	(-)	(-)	24	24	22(公1)	24	24	21(監1)	(-)
広報		14	13	(-)	14	11	(-)	14	11	(-)	(-)	14	(-)	(-)	14	12(監2)	(-)
特別委員会		12	10	10	12	11	10	10	11	12	5	11	12	12	12	10(監1)	12
第1分科会		7	6	6	(-)	5	(-)	7	7	7	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	6(公1)
第2分科会		8	(-)	(-)	8	(-)	8	(-)	(-)	(-)	8	8	5(公2)	8	8	7	(-)
全員協議会		7	6	7	6	7	7	6	6	7	3	7	6	7	7	7	7

委員 会 名	開催数	構成委員	
四 役 会 議	4	正副議長（野崎・村上）	議会運営委員会正副委員長（燕・川口）
委 員 長 会 議	4	正副議長（野崎・村上）	各委員会委員長（燕・野呂・村山・鵜城）
各 派 代 表 者 会 議	18	正副議長（野崎・村上）	議会運営委員会委員長（燕） 会派代表（珍田・小野・戸水・坂本守正）
留 萌 線 対 策 会 議	10	正副議長（野崎・村上）	会派代表（土田・小野・戸水・坂本守正・米倉）
危 機 対 策 会 議	0	全議員	
北海道後期高齢者医療広域連合議会議員	2	村上	
留 萌 市 監 査 委 員	41	坂本守正	
南 部 衛 生 組 合 議 会 ・ 協 議 会	8	議長（村山）・笠原・鵜城・戸水	
消 防 組 合 議 会 ・ 協 議 会	7	議長（野呂）・澤井・米倉・小野・坂本茂	
消 防 組 合 議 会 監 査 委 員	15	坂本茂	

主な各種会議の内容について

◆定例会

議案など議会で審議される事項（事件）の有無にかかわらず、定期的に招集される議会の会議で、留萌市では条例で年4回と定めています。

◆臨時会

定例会のほかに、臨時に会議を行う必要がある場合、必要な特定の事件に限り、随時招集される議会のことをいいます。

◆特別委員会

常任委員会のほかに、特定の問題を審査するために必要に応じて設置される委員会で、基本的に全議員で構成されます。

◆議会運営委員会

議会運営の全般について協議し、意見などの調整を図るために設けられている委員会です。審議の期

間や順番、議案や質問の取扱いなどの議会の運営や会議規則、委員会条例などに関する協議、調査、審査を行います。また、議会基本条例の検証や見直しも行っており、月に2回以上開催しています。

◆常任委員会

市の事務に関する調査や議案、請願・陳情などの審査を行うために、条例で常設する委員会です。留萌市では第1、第2、広報の3つの委員会が設置されています。議員は第1、第2のいずれかの常任委員会に所属し、所管より事前に配布される資料を読み込み、質問事項などを整理し委員会に臨んでいます。

◆全員協議会

全議員が、将来審議される問題などの事案について、報告・協議するための会議です。

